

交通アクセス



「小野橋」バス停から当院まで徒歩約8分



バスの場合

- 小田急線「本厚木」駅東口下車
厚木バスセンターより、⑨番のりば
「森の里」行き(赤羽根・高松山経由以外)
「七沢」・「神奈川リハビリ」・「広沢寺温泉」行き、「小野橋」バス停下車
- 小田急線「愛甲石田」駅下車
③番のりば「七沢病院」行き、「小野橋」バス停下車
または、④番のりば「森の里」・「松陰大学」。
「日産先進技術開発センター」行き、「小野橋」バス停下車

車の場合

- 東名高速厚木インター
「厚木方面出口」より約15分
「伊勢原方面(厚木西)出口」より約10分(近道)
- 新東名高速伊勢原大山インターより約5分

タクシーの場合

- 小田急線「愛甲石田」駅より
約1,700円



厚木佐藤病院

since 1983

看護師募集案内

医療法人社団 藤和会
厚木佐藤病院
since 1983

〒243-0125 神奈川県厚木市小野759

TEL.046-250-5160 (採用担当)
TEL.046-247-1211 (代表)



厚木佐藤病院

検索

<http://www.touwakai.com/>



厚木佐藤病院のご紹介



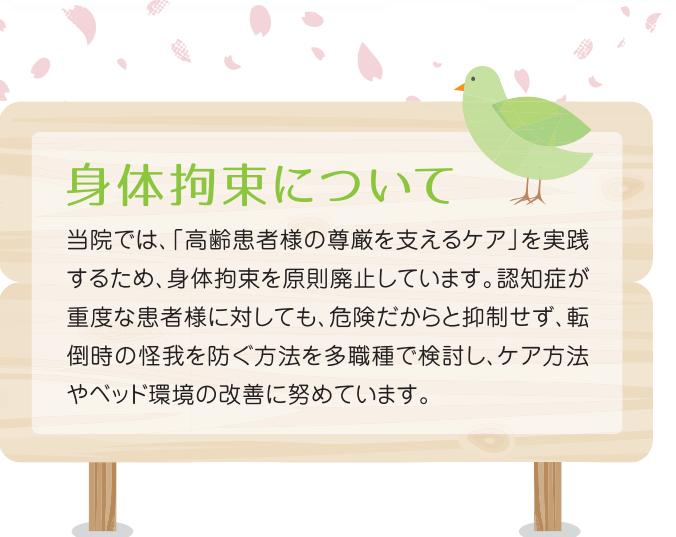
誰もが住み慣れた地域で 安心して暮らせるために

厚木市の豊かな自然に囲まれた当院は、一般病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟、認知症治療病棟を有するケアミックス型病院。併設された介護老人保健施設や訪問看護ステーションをはじめ、近隣の医療・介護施設とも密な連携を図り、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいます。2017年10月には、認知症患者様とご家族を支援する「認知症疾患医療センター」が開設いたしました。

病院概要

病床数 一般病床 48床
療養病床 82床
(地域包括ケア病棟 43床 療養病棟 39床)
精神病床 54床(認知症治療病棟)

診療科目 内科・血液内科・呼吸器内科・循環器内科・
消化器内科・精神科・神経内科・整形外科・
形成外科・外科・呼吸器外科・麻酔科・眼科・
リハビリテーション科・皮膚科・泌尿器科・小児科



関連施設

●医療法人 社団 藤和会
介護老人保健施設 こまち
・入所サービス100名(短期入所含む)
・通所リハビリテーション40名(予防含む)
[併設]訪問看護ステーション
訪問リハビリテーション
居宅介護支援事業所

〒243-0125 神奈川県厚木市小野 763-1

TEL. 046-247-1239

<http://www.touwakai.com/komachi/>

当院を退院された患者様の日常生活を
継続して支援しています



看護部のご紹介

看護部教育課を設立し、
地域医療に貢献できる人材を
育てています。



当院は、神奈川県県央地区の地域医療を支える病院として、「地域貢献」に焦点をあてた人材育成を推進。2019年にはキャリア形成をサポートする看護部教育課を設立し、教育専従看護師が中心となり、独自のラダーに沿った研修プログラムを企画・開催しています。

特長1

複数の機能を持つ ケアミックス型

急性期から在宅ケアまで、
一貫した医療サービスを展開

特長2

継続的な成長を応援する 看護部教育課

教育専従看護師が各部署と連携し、
キャリア形成をサポート

特長3

働くママ・パパを支える 院内保育室

24時間対応の院内保育室を完備し、
円滑な職場復帰を応援



働きやすく、学び続けられる職場を目指して

●看護部長 宮島 晶子

急性期から在宅まで包括した医療を展開する当院では、さまざまな看護経験を積むことが可能です。活躍の場は、外来・一般病棟・地域包括ケア病棟・療養病棟・認知症治療病棟と多様で、認知症疾患医療センターも運営し、院内外の専門職と協働しています。また、併設の老健や訪問看護ステーション等と連携し、時代に求められる地域包括ケアシステムを整備していることも強みです。看護部には、20代～60代の多様な人材が在籍し、男性看護師の入職も増えていて全体の1割を超えています。子育て支援が手厚いため、産休・育休取得後の復帰率はほぼ100%で、ママさんだけでなくパパさんの育休取得実績も豊富です。教育課の設立以来、積極的にキャリア形成に励む職員が増え、eラーニングや外部研修の受講率も向上。2022年度からは看護実習の受け入れを開始予定で、実習指導者の育成にも力を注いでいます。

看護部理念

人と人とのふれあいを大切にし、あたたかい看護・介護を実践します

病院の 基本理念と 行動基準

基本理念／心と体の健康を守る質の高い地域医療の提供
行動基準／●患者さんに寄り添い真心と責任を持って接しよう
●スタッフ全員で作るチーム医療をしよう
●学ぶ姿勢を持ち医療の質を高めよう
●常に考え安全で効率的な医療を目指そう
●健康に気を付け元気に業務にあたれるようにしよう





教育制度について

共に学び、共に成長できる環境作り

●看護部教育課係長 海老原 ひとみ

看護部教育課では、新人教育と継続教育の更なる充実を目指して、2020年度に独自の「クリニカルラダー」「キャリアラダー」を導入しました。認定看護管理者の副看護部長が責任者を務め、係長の私は、主に院内研修の企画・開催・評価を担い、新人と指導者のみならず、全ての看護師が共に学び合える職場を目指して活動しています。

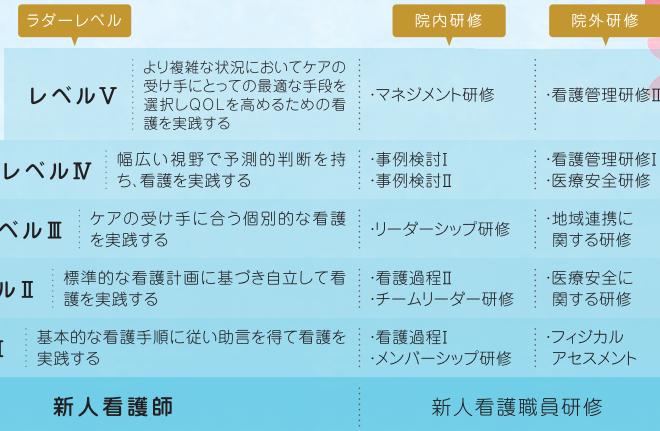


新卒者には、「かるがも方式」と「プリセプター制度」を併用したOJTに加えて、基礎看護技術と社会人基礎力を育む多様なテーマの集合研修を開催。中途入職者には、これまでの経験を踏まえた上で個別の指導計画を立て、プランクのある方でも安心して働けるように、入職時には苦手な技術を集中的に学ぶ研修を実施しています。



●クリニカルラダー・キャリアラダー研修

看護教育課と部署・個人が成長できるように看護部教育目標に沿った独自のクリニカルラダー・キャリアラダーを導入しています。主体的に学ぶ教育体制を作り、看護の質の向上を図ります。



きらぼし研修

新社会人としての基本を学ぶ研修。また、研修や食事会を通してチーム医療の基礎となる多職種とのコミュニケーションを深めます。



中途入職者研修

基本的な看護技術の演習と手順の確認を行います。プランクがある方でも安心して業務が行えるようサポートしていきます。



eラーニングの活用

講義・演習の他に自宅でも閲覧(研修)可能な研修システムです。学習時間や研修内容が自分で調整できるのがメリットです。



教育理念

地域医療に貢献できる人材の育成を目指します

- 急性期から在宅に向け継続した看護が提供できる質の高い看護職を育成する
- 患者個々の尊厳を守り個別性のある看護が提供できる看護職を育成する
- 専門職業人として個々のキャリア形成に向けた行動がとれる自立した看護職を育成する



新人教育研修 [カルガモ・フォローアップ研修]

当院で取り入れている「カルガモ教育」とは、教育専従担当者(親ガモ)が新人看護職員(子ガモ)に年間研修計画に沿ってOFF-JTでの集合研修(看護技術や社会人基礎研修など)を行い、その後は定期的に一人ずつ臨床でフォローアップ研修を行う指導方式です。プリセプターや職員と連携し、安全に業務が行えるようOJTとOFF-JTを組み合わせながら新人看護師の育成にあたっています。

新人看護職員 研修目標	1. 新人看護師として、知識・技術・態度を身につけることができる
	2. 指導を基に看護過程の展開ができる 4~5月は看護技術の集中研修をします。①eラーニング ②講義 ③デモンストレーション ④演習を繰り返しながら基礎看護技術の習得を目指します。その後は病棟で看護技術の実践を行います。

●新人看護職員育成年間計画表 (新人看護師の看護実践における1年間の流れと到達目標)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
到達目標	新オリエンテーション	フィジカルアセスメント	受け持ち2~4名	受け持ち患者の看護提供ができる			受け持ち4名	受け持ち4~8名				
	支援を受けながらチームナーシングができる											
新人の期待される行動	日々の実践の中でメンバーシップが發揮できる											
OFF-JT	カルガモ教育	新オリエンテーション	きらぼし①				きらぼし②					
OJT	OJT教育											

看護師メッセージ

新卒看護師（フリセフティー）

温かい職場で働く安心感

実習病院で入院中の抑制の弊害について学んだことをきっかけに、学生時代は身体抑制を看護研究のテーマに選んでいました。働く職場も、抑制廃止に取り組む病院を希望していく、「抑制は原則禁止」とする当院の方針に魅かれて入職を決めました。

新卒は入職から約1ヶ月間の研修があり、同期と基礎看護を学び、5月から部署に配属されます。配属後は日勤業務から覚えていき、6月にはプリセプターの先輩と一緒に夜勤に入り、私の場合は9月から夜勤でのひとり立ちをしました。看護部の先輩方は、患者様への対応が親身な上に新人にも愛情を持って接してくれる方ばかりで、勤務中も気軽に質問や相談がしやすく、安心して働くことができています。



先輩看護師（フリセフター）

新人と一緒に成長を目指す

私は新卒で入職後、卒後3年目からプリセプターとして後輩の育成に携わっています。指導者として、「自分が新人だったら」という視点を忘れずに、「育てる」というよりも「一緒に成長する」つもりで関わることを意識しています。入職から約3ヶ月間は、病院や部署の雰囲気に慣れもらうことを重視し、コミュニケーションを重ねながら信頼関係を築いています。入職6ヶ月目頃からは、配属病棟でよく遭遇する疾患・病態への理解を深めていき、少しずつ単独で業務が行えるようにフォローしています。担当のプリセプターは向上心が高く、何事にも前向きに取り組んでいるので、私自身も初心に戻り、仕事を頑張ろうという気持ちになります。



子育て中看護師

働くママ・パパに優しい職場

准看護師から看護師を目指して進学を考えていた私は、当院の「奨学金制度」に魅かれて入職を決めました。看護師の資格取得後に結婚・出産を経験し、院内保育室を活用して職場復帰を果たし、現在も勤務しながら保育園に通う2人の子どもを育てています。仕事と育児の両立は大変なことが多いですが、看護部には子育て中の仲間が多く、子どもの急な体調不良でお休みする際なども、「お互いさま」と言い合える雰囲気です。上司も子育てに理解があり、子どもの行事にはなるべく参加できるよう勤務を調整してくれるので、ずっと常勤として働き続けることができています。今後も、子どもの成長に合わせて働き方を見直しながら、自分らしく仕事を楽しみたいと思います。



福利厚生



●院内保育室「わかば」

対象: 年齢0歳～小学6年生
年齢別保育・土曜スポット利用・学童保育に対応しています。

●独身寮完備

病院より徒歩20分の閑静な住宅街。
(シャトルバス有り・1R・3万円/月)



●奨学金制度

未来の看護師を応援しています。
詳細はお問い合わせください。



●イベント各種

永年勤続表彰・新人歓迎会・忘年会など、他職種との交流の場。

